

令和2年度 武雄市立橋小学校における教育活動の重点事項

① 学校教育目標

「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成」

- ・「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のことである。
- ・「学校・家庭・地域の思い」とは、教職員・保護者・地域の人たちが、様々な教育活動を通して育ってほしい「ときわっ子」の姿のことである。

② 本年度教育の重点

ア 確かな学力を育む教育活動の推進

新学習指導要領で目指す3つの資質・能力（知識及び技能、思考力、判断力、表現力など、学びに向かう人間性など）を育てる。また、基礎学力（読み、書き、計算に代表されるすべての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識や技能）の向上を図る。

- 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくりと授業研究会の充実
- ICTの効果的な活用
- 自主学習及び予習課題を用いた家庭学習の充実
- 学習規律の徹底
- 花まるタイムの充実
- 児童の学力や学習状況の把握・分析及び活用

イ 豊かな心を育む教育活動の推進

互いを認め合い、支え合う関わりの中で、自己肯定感を高め、より良い生き方を目指そうとする心を育てる。また、文化的活動を通して、豊かな感性を育てる。

- 道徳教育の充実
- 人権・同和教育の充実
- 縦割り活動の充実
- 地域と連携した体験・交流活動の充実
- 芸術鑑賞会や読み聞かせの実施
- 不登校やいじめ問題に対する未然防止や早期発見・早期対応の徹底
- SCやSSW、民生委員等の関係機関との連携強化

ウ 健やかな体を育む教育活動の推進

自分の心と体の健康に関心を持ち、めあてをもって生活しようとする態度を育てる。また、食生活の改善に努め、感謝の気持ちをもって食事をしようとする態度を育てる。

- 営農教室や田んぼの学校を通じた食育活動の推進
- 体育的行事や運動委員会による自主的な活動

エ 特別支援教育活動の推進

配慮を要する児童の理解と支援体制の強化を図る。また、特別支援教育に関する教職員の資質・能力の向上を図る。

- 児童支援研修及びケース会議の充実
- 個別の教育計画と指導計画の作成及び効果的な活用

オ 幼・保・小・中連携の推進

幼保及び中学校職員との情報交換を通して、基本的な生活習慣並びに中学校進学を見通した指導などの連携を図る。

- 授業参観並びに合同研修会の実施

カ 時代のニーズに対応した教育の推進

国、県、市が求める教育施策等に対する教職員の理解と資質・能力の向上を図る。

- 外国語活動の充実
- プログラミング教育の充実
- 防災教育の充実
- 郷土を愛する心を育てる教育の充実
- 情報モラル教育の充実

キ 家庭・地域との連携強化

家庭及び地域一体となって児童を育てる開かれた学校づくりに積極的に取り組む。

- 育友会活動の充実
- 官民一体型学校づくり（5年目）の推進
- コミュニティ・スクール（4年目）の充実
- 学校施設及び環境の充実

ク 働き方改革の推進

業務改善を図り、教職員の時間外勤務（月 45 時間、年間 360 時間以内）の縮減を目指す。

- タイムカード導入による時間外勤務の管理及び教職員の意識向上
- 学校行事や会議等の精選・効率化の推進